

議員提案——市政の透明性・市民の信頼をめざす

法令遵守条例を可決



ジュニアリーダーズスクール (ウォークラリーから)

平成19年第1回定例会は、3月1日から27日の会期で開催されました。今定例会では、東久留米市乳幼児の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例をはじめ、市長提出議案29件、議員提出議案15件(意見書案8件、決議案3件含む)、請願5件、陳情35件を審議しました(結果は、8面をご覧ください)。

議員提案  
法令遵守の推進等に  
関する条例を可決

「議員提出議案第3号東久留米市法令遵守の推進等に関する条例」は、議員提出議案として本会議初日に提案者を含めた10人の議員から提出されました。本案は、3月13日の総務委員会において、提案者・賛成者の出席を求め審査されました。質疑の後の討論では、議論の必要性、公聴会の開催、市側等の意見を聞く必要があるとして継続審査の動議が提出されました。これに対し、全会一致で決定された100条委員会報告書の延長線にある本議案を議員任期中に成立させる必要があるとして継続審査には反対との意見。また、参考人招致や市側、関係市民等の意見聴取を含め慎重に審査すべきであり、継続審査に賛成との意見。採決

【委員会での提案者に対する質疑から】  
本議案提出の背景は、先月の100条委員会報告書は、コンプライアンス体制を徹底するために、組織的に取り組むための庁内体制の整備を市として早急に行うことを強く要望している。行政側もこの報告書を見事に受け止めた。これについて、議員の任期がある中で、今回、議員提出議案として提出した。不当要求行為と正当な市民の陳情行為との線引きが条例上よく見えないが、答弁 不当要求行為の判断は、個人がするのではなく、組織として判断する。そのための推進委員会、審査会と理解願いたい。  
市側が公益通報、不当要求行為に関する要綱を既に定めている。条例化は必要ではないか。  
答弁 要綱は要綱として遵守されているものと理解するが、条例を定めることにより、広く内外に宣言しておきたいという意味から提案している。

【委員会での提案者に対する質疑から】  
本議案提出の背景は、先月の100条委員会報告書は、コンプライアンス体制を徹底するために、組織的に取り組むための庁内体制の整備を市として早急に行うことを強く要望している。行政側もこの報告書を見事に受け止めた。これについて、議員の任期がある中で、今回、議員提出議案として提出した。不当要求行為と正当な市民の陳情行為との線引きが条例上よく見えないが、答弁 不当要求行為の判断は、個人がするのではなく、組織として判断する。そのための推進委員会、審査会と理解願いたい。  
市側が公益通報、不当要求行為に関する要綱を既に定めている。条例化は必要ではないか。  
答弁 要綱は要綱として遵守されているものと理解するが、条例を定めることにより、広く内外に宣言しておきたいという意味から提案している。

平成19年度予算を可決(総額617億円)

平成19年度一般会計予算案および国民健康保険・老人保健・介護保険・下水道事業・受託水道事業の5特別会計予算案は、予算特別委員会(3月16日・19日・20日・22日の4日間)を設置し、岸伊佐雄委員長(自民・市民クラブ)・上田芳裕

各会派代表による討論(予算案に対する意見表明)が行われた後、一般会計と国民健康保険・下水道事業の2特別会計予算案は賛成多数で、その他の3特別会計予算案は、全員賛成で可決されました。  
予算規模は、一般会計37億5千300万円、前年度比較4.7%の増、5特別会計を含む

乳幼児医療費の助成に関する条例の一部を改正

議員提出議案第4号東久留米市乳幼児の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例」は、提案者を含めた3名の議員から本会議初日に提出されました。本案は、関連のある同件名の市長提出議案第13号とともに、3月14日の厚生委員会でも審査されました。質疑は一括で行い、採決はそれぞれ行いました。採決はそれぞれ行いました。質疑の中で子育て支援の環境として年齢拡大には賛成、また市長の英断で可能な金額と考案議員提案に賛成との意見。討論では、市長は引き続き拡大の意向を示している。これらを見守るとし、議員提案に反対との意見。その後の採決では、議員提出議案第4号は、賛成

「議員提出議案第4号東久留米市乳幼児の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例」は、提案者を含めた3名の議員から本会議初日に提出されました。本案は、関連のある同件名の市長提出議案第13号とともに、3月14日の厚生委員会でも審査されました。質疑は一括で行い、採決はそれぞれ行いました。採決はそれぞれ行いました。質疑の中で子育て支援の環境として年齢拡大には賛成、また市長の英断で可能な金額と考案議員提案に賛成との意見。討論では、市長は引き続き拡大の意向を示している。これらを見守るとし、議員提案に反対との意見。その後の採決では、議員提出議案第4号は、賛成

「議員提出議案第4号東久留米市乳幼児の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例」は、提案者を含めた3名の議員から本会議初日に提出されました。本案は、関連のある同件名の市長提出議案第13号とともに、3月14日の厚生委員会でも審査されました。質疑は一括で行い、採決はそれぞれ行いました。採決はそれぞれ行いました。質疑の中で子育て支援の環境として年齢拡大には賛成、また市長の英断で可能な金額と考案議員提案に賛成との意見。討論では、市長は引き続き拡大の意向を示している。これらを見守るとし、議員提案に反対との意見。その後の採決では、議員提出議案第4号は、賛成

心身障害児通園施設条例の一部改正

「東久留米市心身障害児通園施設条例の一部を改正する条例」は、3月14日の厚生委員会でも審査されました。委員会で継続審査の動議が提出され、賛成少数で否決。その後、原案の採決では賛成多数で可決。3月27日の本会議においても同様の採決結果となりました。本案は、市立わかさ学園の旧市立ひばり保育園跡(南沢四丁目7番18号)へ移転計画を推進するため、位置を変更するものです。

議員定数を2名減  
常任委員会委員の定数改まる

「東久留米市議会委員会条例の一部を改正する条例」は、議員提出議案として本会議初日に提案者を含めた7人の議員から提出され、全員賛成で可決されました。本案は、平成18年第1回定例会において東久留米市議会議員の定数を現行24名から22名(19年4月の一般選挙から適用)に削減した

「東久留米市議会委員会条例の一部を改正する条例」は、議員提出議案として本会議初日に提案者を含めた7人の議員から提出され、全員賛成で可決されました。本案は、平成18年第1回定例会において東久留米市議会議員の定数を現行24名から22名(19年4月の一般選挙から適用)に削減した

「東久留米市心身障害児通園施設条例の一部を改正する条例」は、3月14日の厚生委員会でも審査されました。委員会で継続審査の動議が提出され、賛成少数で否決。その後、原案の採決では賛成多数で可決。3月27日の本会議においても同様の採決結果となりました。本案は、市立わかさ学園の旧市立ひばり保育園跡(南沢四丁目7番18号)へ移転計画を推進するため、位置を変更するものです。